

# これからちよつと ふれあい館へ

交通弱者を対象に十月二十日から始まったふれあい館の村内送迎サーブिस。二十一日午前十一時に三区の公会堂へ到着したふれあい館の送迎車には、集まっていた安藤フシ子さんから八人の皆さんが、ドライバーに「すみませんね」と声をかけながら乗車。この皆さんの楽しいひとときは、送迎車を待つていたときからすでに始まっています。



到着したふれあい館にて

**広報**

1995年**10**月号 (No.294)

# しんとう

## 主 内 容

- 95国際交流事業… 2～6ページ
- 園児募集のお知らせ… 7ページ
- 敬老に関する話題 8～9ページ
- 村のニュース… 10～11ページ
- 話題あれこれ… 12～13ページ
- くらしの情報… 14～15ページ
- こちら保健婦… 16ページ



本村の国際交流事業は、国際化時代に対応できる人材の育成と、外国の人々との交流を図ることを目的に、平成二年からスタートしました。棟東中初代の英語指導助手シャバード・デローさん、現伊達シャバード・デロー、淡川市在住）と縁のある米国イリノイ州ジェネシオ町へは、六年間にわたり、毎年夏、中学生らが訪ねてホームステイをしたり、両町村の関係者が行き交うなど、町と本村の友好関係は年々深まっています。この日は、本村の中学生千人と一般者四人がジェネシオ町などへ、ジェネシオ町から訪れた六人が本村で、それぞれホームステイをしながら日米両国の見聞を広げました。訪米した十四人の皆さんの感想や、本村でゲストを迎えてホストファミリーを体験した皆さんの感想（今月号からシリーズで）などを二ページから六ページにわたって紹介します。

六年目を迎えた中学生の海外派遣事業では、女子生徒十人が夏のジエネシオ町などを訪ねて、ホームステイを体験しました。その皆さんが書いてくれた体験記を要約して紹介しましょう。

### Part 1 中学生編

## ホームステイ中に迎えた誕生日

私のホストとなったデエイブさんの家族はみんな楽しい人々。モリン空港に迎えに来てくれたその家族のおかげで、私の不安な気持ちには消えました。

デエイブさんの家族には二人の娘さんがいます。十四歳のエリンさんは昨年、棟東でホームステイをした経験の持ち主で、もう一人は十七歳のケイトさん。

ホームステイの最中で一番感動したのは六日目。ハンバーガーショップで私の誕生日を知ったケイトさんと彼女の友だちは、その場で「ハッピーバースデー」を、



三年 山本亜矢子さん(3区)

大きな声で歌ってくれました。その日は、夜も宮崎さんや東さんも交えて誕生日を祝ってくれたので、最高の誕生日となりました。食事には困りませんでした。九日目にアメリカの人々と同量の食事をとっている自分に気づいて少しあせった私です。

## 家族の大切さも知りました

成田空港を離陸するジェット機の中で「胃が浮いていく」と感じた私。ここから私の初挑戦と思いの日々は始まりました。

ジェニファアーさんがいるホストの家族は、やさしい人ばかり。いろいろなところへも連れて行ってくれました。ホストの自家用クルーザーに乗り、夏のミシシッピ川をクルージングしたり、大きなプールのウォータースライダーでスリルを味わったことは、いまでも忘れることができません。

国際交流プロジェクトに参加して、アメリカ人の心の温かさや



三年 宮崎 泉さん(8区)

広さを感じ、広大な国を肌で感じる事ができたこと、そして私の家族と別れている間に、本当の家族の大切さを知ったことなど、勉強になったことは数えきれません。これからもチャレンジすることをためらわず、この体験を生かして成長したいと思えます。

## 接したすべての人から愛情を

空港でホストの人と会い感動した私は、その車でホストのお宅に向かう途中、「この人が私の家族になる人なんだ」と、うれしくてたまりませんでした。

そんな感じで始まった私のホームステイ。すてきな家族と十日間を過ごして、一番心に残っているのは、帰国する前日の夕方のこと。風が気持ちよく、ホテルが光っていました。その中を犬の散歩をしながら、お母さんと話したことが印象的でした。空港で別れるとき、なぜか涙が出て、ほおを濡らしていた私を、強く抱きしめてく



三年 東 千尋さん(10区)

れたお母さん。そのとき、すごく「愛情」を感じた私です。今回のホームステイでいろいろなことを学びました。私に接してくれたすべての人から「愛情」をいただいたような気がします。アメリカに渡り、心が熱くなる思いを体験することができました。

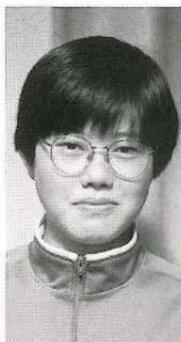
## ボランティア精神を学びました

私が訪ねたレイニング家は、大豆やトウモロコシ畑に囲まれて、いかにも「大草原の小さな家」という感じで感激しました。

農業をするかたわら、消防士を務めるダレルさんの家族は五人。皆さんに日本料理を食べさせようと作ったいなりずしは、わざわざ包みの油あげとご飯を分け、ご飯

だけをおいしそうに食べてくれました。また、私が生けた生け花を食卓の上に飾ってくれたので、とてもうれしかったです。

私がアメリカで学んだことは、人々のボランティア精神です。お金や見返りがなくても、人の役に立つことなら、自分から進んでやるという心構えには、感心しまし



二年 萩原みちるさん(6区)

た。何もかもが大きいアメリカを初めて訪ねた私は、そこでたくさんのおやさしさや温かさに触れることができました。

## 不安がなくなり元気が出る方法

初めてのアメリカ。いろいろな心配や不安が頭をよぎり、「日本人」だということを実感した私が、緊張する中で「笑顔だけは忘れずにいよう」と、心に決めて降り立ったモリン空港。

迎えに来てくれたホストファミリーの早口の英語に、私はこれらの十日間が不安になりましたが、

「完璧にわからなくてもいい、どうにかなる」と思ったときから元気が出てきました。ホストの家族は皆さんやさしい人。会話の途中で私が理解できずにいると、理解させようと時間を惜しまずに努力してくれました。

初めの二、三日は時間も遅く感じましたが、それ以降の時間はあつ



二年 小林 希美さん(8区)

という間に過ぎ去りました。十日目、明るくふるまっていた私ですが、内心とてもさみしかった私です。ことしの夏は最高でした。

## 自分で体験してわかるアメリカ

わくわく気分の私を乗せた飛行機がモリン空港へ到着し、ロビーで「ようこそ、宏美」と英語で書かれた大きい紙を見て、私はすこくうれしくなりました。

そんな感じで始まった私のホームステイは、やさしいホストのおかげで、いろいろなところへ案内されたり、親戚などたくさんの人

に会うことができました。一日中祖母の家で過ごした日もありましたが、祖母が作ってくれたハンバーガーの味は忘れられません。あつという間に過ぎたすばらしい日々。ホストの皆さんには、たくさん迷惑をかけたと思いますが、いつも笑顔で話しかけてくれました。アメリカには、たくさん良いところ



二年 都筑 宏美さん(8区)

ろがあります。これは自分で体験しなければわからないことなので、多くの人たちが国際交流を体験してほしいと感じました。

## 帰国準備をしながら思ったこと

ことしの夏、私はアメリカで夢のような十日間を体験して、多くの人々と出会い、すばらしい時間を過ごすことができました。

私が訪ねたホストの家族は五人で、一人はタイへ旅行中で会えなくて残念でした。ホームステイ中は、十三歳のアンドレアさんと一緒に出る機会が多く、彼女は私を

買物や学校見学、遊園地、プール、スケートセンターなどいろいろなところを案内してくれました。特に遊園地では、見たもの、乗ったものすべてが新鮮に感じ、その夜レストランで食べたミネストローネはとてもおいしかった。帰国の日、「このままアメリカにいたい」と思いながらトランクケ



二年 吉田 彩さん(9区)

スを整理していた私。アメリカのすばらしさ、大きさ、何となくも心の広さを知るといふ貴重な日々を過ごすことができました。

## アメリカの家族と過ごした日々

日本とはまったく別世界のアメリカは、とても広く、やさしい人々が暮らしていました。

ホストの家族は明るい人々で、私の不安もどこかへ行ってしまいました。お父さんのマービンさんは八月十五日が誕生日。私がパーティーカードとして、英語と日本語で「お誕生日おめでとう」と書



二年 松岡 裕子さん(11区)

いた紙を渡したら、とても喜んでくれました。紙一枚の価値がこんなにあるなんて、思わず照れてしまった私です。日本のこととても興味を示してくれたホストの家族は、私を特別扱いせず、自然の家庭の雰囲気の中でホストファミリーをしてくれたのだと思います。帰国の日、娘の

# いつの間にか消えた「不安」

三年 斉藤 絵美さん(19区)

私のホームステイをしたマイクさんのお宅は、牧場を営んでおり、庭の中を川が流れています。乳牛なども飼育しているおかげで、しばらくたてのおいしい牛乳をいただくことができました。



マイクさんの娘で十四歳になるミラさんと、ミドルネームの話をしていくと、ミドルネームが話の私にはミドルネームがないと話していたら、「絵美のミドルネームもミラと同じANNだよ。家族だものね」と言ってくれたお母さんには感激しました。

がら、いろいろなところを訪ねた十日間。いつの間にか「不安」の文字が心の中から消えていきました。別れるとき、涙を浮かべながら「いつでも帰ってきてね」と声をかけてくれたお母さん。私はもつと英語を身につけてから、そのお母さんと会いたいと思います。

# 国際交流

International Relation

## 1995

### Part 2 一般者編

# 学んだことは計り知れません

二年 山田 友香さん(15区)

私が訪ねたお宅は、アルミニウム工場へ勤めるお父さんと、高校の数学教師をしているお母さん、そして女の子二人と男の子一人の五人家族でした。

また、家族全員でドレスアップしてから教会へ出かけるという信仰心のあつい家族です。十日間のうち四日間は、さまざまな人種があふれるシカゴ市の祖母の家で過ごしました。ジェネシオ町とシカゴ市、それぞれ数多くの場所を訪ねながら、たくさんの人々と接し、社会環境や子どもたち

ちが考えている夢、日本と異なることなど、学んだことは計り知れません。このすばらしい体験を私の将来に役立てたいと思います。

生徒に随行してくれた先生方です



岡部宏行校長



浅井清隆教諭



竹村典子教諭

ことしの村民海外人材派遣事業で訪米した四人の皆さんはすべて高校生でした。道上くんを除く三人は、ジェネシオ町などで始めてホームステイを体験。ことしの夏、異国の地で見聞を広めてきたこの四人の皆さんに、感想などをお聞きしたので紹介します。

# 日米両国を知ることが

阿部 洋平くん(5区) 渋川高校2年



私がホームステイをしたのは、ジェネシオ町と隣接するコロナ町のエルジョイ・ジャヴィズくんの家です。昨年、私の家でホームステイをしたエルジョイくんの家では、お父さんが建設機械などを造る工場へ勤め、家族で毎週日曜日の朝、教会でお祈りをするという、信仰心のあつい皆さんが温かく迎えてくれました。真つ平らでトウモロコシ畑に囲まれた彼の家。少し離れた祖父の家



湖みたいに広がったというロックリバーで水上バイクに乗る阿部くん

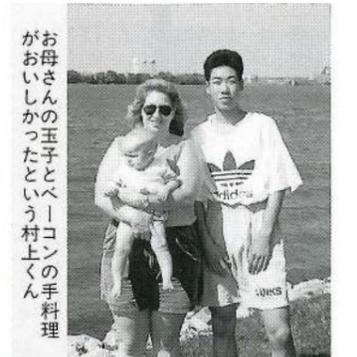
の近くには、ロックリバー(川)がゆったりと流れ、その川で家族の皆さんと、水上バイクや水上パレーボートをしながら、アメリカの夏を楽しむことができました。昨年、私の家の食事をすすんで食べた

# 帰国後ホームシックに

村上 直人くん(20区) 渋川高校2年



大学生や高校生が集まって会話を楽しむ集会に参加できました。ジェネシオの町をふだん歩いていてもそうですが、年齢に関係なくあいさつを交わしたり、夜の公園にいた皆さんが親しそうに話をする姿を見て「生意気」という感覚がないことに気が付き、いまままで自分の身についていた「人との接し方」を、改めなければならぬと感じました。慌ただしさのない生活環境で暮らす親しみやすいジェネシオの人々。



お母さんの玉子とベーコンの手料理がおいしかったという村上くん

そこで感動の日々を送った私は、日本に帰国してからホームシックの気分を味わいました。

# 自然に家族へ溶け込む

金井菜穂美さん(15区) 渋川女子高校1年



私のホームステイ先は、三年前に国際交流事業で姉がお世話になったジェネシオ町のアーノルド・タープさんのお宅。住所を表す数字が大きくかかれた玄関に立つと、外には美しく手入れされた芝生と道路が目に入りました。



菜穂美さんを加えたアーノルドさんの家族。赤ちゃんはおやすみ中

だれでも気軽にあいさつしてくれるジェネシオ町の人々。タープさんの親戚や知人との会話の中で、「樺東へ行った」とか「樺東中の生徒が家でホームステイをした」という話題が多く登場し、交流の輪が広がっていることに感心した私は、二年前、樺東でホームステイをしたマーク・アードマンさんと、彼が勤めるショッピングセンターで偶然会い、二年前に浅間山で撮った写真をプレゼントされ驚きました。



# 私の第2のふるさとへ

道上 智仁くん(2区) 前橋西高校2年

中学三年の夏にジェネシオ町で十一日間、ことしの春に Wisconsin 州で約一カ月間、それぞれホームステイを体験している私が、今回ホームステイをしたのは、ジェネシオ町の J.J. ハゼットくんの家。昨年の夏、私の家でホームステイをした彼は、私との再会を大変喜んでくれました。



ハゼットくんのお母さんと。道上くんのアメリカにいる家族は、三つに

ジェネシオ町を二年ぶりに訪ねて「帰ってきた」という印象を受けた自分。気付かないうちにジェネシオ町は、私の第二のふるさとになっていたのです。

やさしさなどを知る機会も増えました。三回訪米し、自分なりにアメリカ人との接し方を考えてみると、多少英語が通じなくても恐れず、ずうずうしいと思われれば心で前を出したほうが、早くコミュニケーションできるのではないのでしょうか。私のこれからの人生は、「日本人なりにどのようにしたらアメリカ人に近づけることができるか」がテーマになるような気がします。

シリーズ第1回目は、ジェニファーさん、キャサリンさん、クリスくん、そのれぞれホームステイをしたお宅を紹介いたします。

ホストファミリーの皆さんは、ボランティアでしていただいています

## 彼女を通して米国を垣間見る

### ジェニファーさんが過ごした広橋隆一さん宅 (16区)

ナスの収穫作業におられる広橋さん宅を訪れたジェニファー・ホワイトさん十四歳。  
忙しい時期でしたが、広橋さんのお宅では、家族とともに彼女を村内の観光施設や榛名湖、日光、そしてポーリングとさまざまなところへ案内したそうです。

果汁百割のリンゴジュースを三度三度に飲み、塩とコショウで味付けしたステーキは食べても、和食はほとんど食べなかつたという



恵さんと一緒にゆかた姿に着替えて、喜ぶジェニファーさん

彼女を、「せっかく日本に来たのだから、和食にもっとチャレンジしてほしかったですね」と語る奥さんの一江さん。「買物などへ行くと彼女は値段を見て「高い、高い」と怒るんですよ。金銭感覚はうちの子も見習ってほしいですね」と

## 苦労を忘れるほどの感動を体験

### キャサリンさんが過ごした代田英俊さん宅 (6区)

奥さんの祐子さんが美容院を営む代田さん宅でホームステイをしたのは、十四歳のキャサリン・ワッツルさん。

将来、歯科衛生士になりたいというキャサリンさんは、美容室にある道具や化粧品などを、興味深く見入っていたそうで、祐子さんが「好きな髪型にしてあげる」と言うと、早々にスタイルブックの中からリクエストしたとか。好きな髪型にしてもらった彼女は、ホストの家族とともに前橋の花火大会へ。



ヘアスタイルに喜ぶキャサリンさん、彼女の忘れられない思い出

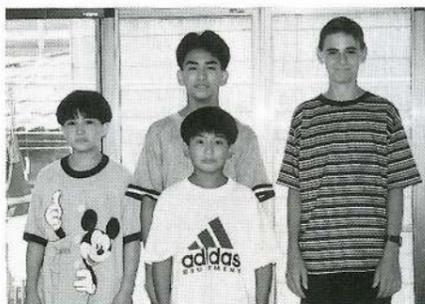
髪型に喜びながら街を歩いていた彼女も、すし詰めとなった大渡橋の上では、さすがに閉口し

## 家族のふれあいを高めることが

### クリスくんが過ごした土谷明映さん宅 (7区)

土谷さん宅でホームステイをしたのは、クリス・キャッシュマンくん十三歳。

クリスくんは、お風呂に入らず(シャワーを朝、浴びるだけ)、扇風機を止めないで寝てしまうというところが気になった以外は、ホームステイをする子どもにはめずらしく、おはしを使ってご飯を食べたり、日本語を勉強してきてくれたので「ホストファミリーとして大変楽でした」と話す奥さんの洋子さん。



朝、写した土谷さん宅の四人の子どもたち。一番右が顔を洗ったばかりのクリスくん

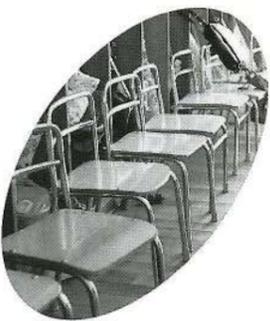
土谷さん宅では、遠距離のドライブはさけ、家庭でのふれあいを中心に取り組んだという今回のホストファミリー。中学一年の法子さんは、片言の英語でクリスくんと会話できたこと大喜びし、以前より英語へ取り組む意欲が増したそう、小学五年の拓海くんもク

たそうです。  
帰国の前夜、祐子さんと抱き合つて別れを惜しんだという彼女。祐子さんは「いろいろ苦労もありましたが、それを忘れるほどのいい経験と感動を味わうことができました。私も主人も今回の体験で外国人を見ておどろくような、

リスくんを通じてアメリカへの興味わいてきたとか。  
洋子さんは「クリスくんを囲みながら、家族のふれあいを高めることができたのもよかったことですね」と、クリスくんから届いたばかりの手紙を手にしながら語っていました。

外人コンプレックスが消えた感じ。ホストファミリーは、視野を広げるいい機会なので、多くの皆さんに体験してもらいたいですね」と話してくれました。  
彼女がおみやげに買った風鈴は、いまごろジェネシオの風にゆられていることでしょう。

# 平成8年4月に入園する園児を募集



## 幼稚園

村立幼稚園では、平成八年度に入園する園児を次の通り募集します。  
幼児にふさわしい環境の中で、生活習慣、健康な体、豊かな創造性の芽生えなどを育てることを重点にして、「小学校と連携を密にして、低学年の児童につながる一貫した教育を行うことにより」幼児期の教育効果を高めることをねらいとしています。

- 年齢基準  
平成三年四月二日から平成四年四月一日までに生まれた幼児
- 募集定員  
北幼稚園 四歳児三十名、五歳児七十名  
南幼稚園 四歳児三十名、五歳児七十名
- ※両幼稚園とも、四歳児について定員を超えた場合は、抽選により決定します。
- 経費  
授業料：四千元(月額)  
給食費：三千円(月額)

- ▼教材費：一万元(年額)  
※これらの金額は改定することもあります。
- 願書の受け付けなど  
十月二十日から十一月十五日まで(月曜から金曜の午前九時から午後四時までと、十月二十八日および十一月十一日を除く土曜日の午前九時から正午まで)
- 願書用紙は、各幼稚園に用意してあります。願書は希望する幼稚園に提出してください。
- 入園決定  
四歳児が定員を超えた場合は、十一月中に抽選を実施し、決定し

幼稚園の入園に関するお問い合わせ  
北幼稚園：☎五四一三二一一  
南幼稚園：☎五四一七八七七  
教育委員会学校教育課  
☎五四一三五七三

## 保育園

村立の保育園では平成八年度月に入園する幼児を次の通り募集します。  
■入園資格  
保育園は、保育に欠ける幼児の保育を目的としており、入学前の幼児が家庭の事情で保護者が、保育にあたるのが困難なとき、その幼児を保育のために入園させることができます。  
したがって、家庭で保育可能な幼児は、保育園に入園できません。このため保育園の入園については、幼児の家庭の実態調査を行ったうえで入園を決定します。

- なお、保護者の状況に応じて延長保育(八時三十分～十七時)を行いますので、延長保育を希望される方はお申し出ください。
- 延長保育申請書提出後、役場にて内容審査後決定します。
- 定員および年齢基準  
北部保育園：……百二十名  
中部保育園：……六十名  
南部保育園：……九十名
- 年齢基準  
二歳児 平成五年四月二日から平成六年四月一日までに生まれた幼児  
三歳児 平成四年四月二日から平成五年四月一日までに生まれた幼児  
四歳児 平成三年四月二日から平成四年四月一日までに生まれた幼児  
五歳児 平成二年四月二日から平成三年四月一日までに生まれた幼児

- ▼教材費：一万元(年額)  
※これらの金額は改定することもあります。
- 願書の受け付けなど  
十月二十日から十一月十五日まで(月曜から金曜の午前九時から午後四時までと、十月二十八日および十一月十一日を除く土曜日の午前九時から正午まで)
- 願書用紙は、各幼稚園に用意してあります。願書は希望する幼稚園に提出してください。
- 入園決定  
四歳児が定員を超えた場合は、十一月中に抽選を実施し、決定し

入園決定は、二月中旬に行い入園通知を送ります。  
▼保育園の入園に関するお問い合わせ  
北部保育園：☎五四一三二〇〇  
中部保育園：☎五四一三二一四  
南部保育園：☎五四一三五七二  
役場住民課保育園係  
☎五四一三二一一(内線四二〇)



入園決定は、二月中旬に行い入園通知を送ります。





淡川駅で代替バスをバックに、記念撮影する関係者の方々



重さ700グラムの鉄球を使いながらゲームを行うベタンク。標的球の近くへ投げれば高得点に



ふるさと交流便の次号は、ふるさと交流便の企画に制作する予定



村長にフィルムを渡す大谷さんは、ふるさと交流便の愛読者



撮影の合同、岡部教育長と耳飾りの話に夢中の岡田茉莉子さん

### 女優の岡田さんが耳飾りを寄贈

女優の岡田茉莉子さんが、九月六日、耳飾り館を訪ねて、愛用の耳飾りを寄贈してくれました。岡田さんは、昨年の五月にも映画撮影の帰途にプライベートで耳飾り館へ立ち寄り、この日

のち、耳飾り八組を取り出して「私の愛用しているイヤリングを耳飾り館で役立ててください」と、岡部教育長に手渡ししてくれました。耳飾り館では、この耳飾りをケースに収めて常設展示してありますので、皆さんも見学の際にぜひご覧ください。

### アニメ映画二本を寄贈

九月十八日、東映映画制作部で活躍している十二区出身の大谷恒清さん（東京久留米市在住）が村長を訪ねて、短篇のアニメ映画二本（16mmフィルム）を寄贈してくれました。現在、コマシヤルやアニメ映画などの演出家として活躍してい

る大谷さん。「銀河鉄道999」や「千年女王」などのアニメ映画の監督を務めたこともあり、村へアニメ映画を寄贈してくれるのは今回が二度目。村では、いただいたフィルムを公民館を通じて子供会などに映写機とともに無料で貸し出ししてい

### 食欲をそそる和牛焼肉フェア

村内で多く生産されている黒毛和牛を安く味わっていただき、牛肉の消費拡大を図ろうと、九月二十四日、ふるさと公園において、「和牛焼肉フェア」が開催されま

す。利用したい方は農民研修館の公民館事務局までお問い合わせください。公民館で保管中のアニメフィルムは次の通りで、すべて大谷さんが寄贈してくれたものです（カッコ内は映写時間）。  
◆こぎつねのおくりもの（30分）  
◆鬼とゆきうさぎ（22分）  
◆3年寝太郎（43分）  
◆山に輝くガイド犬平次郎（28分）

### ふるさと交流便を村出身者へ

平成元年より村では、ふるさと創生基金の利子を利用して、棟東村出身者向けに、ふるさと交流便を年二回制作しています。その第十二号がこのほど完成し、村出身

者約千人のもとへ送られました。第十二号では、「水」をテーマにまとめられたもので、二区の桃広雑用水や、時代とともに変わりゆく田植えの話題などを紹介してい

### ニュースポーツ ペタンクにチャレンジ

村の教育委員会と体育指導委員会では、生涯スポーツの普及振興と村民の交流を図ろうと、九月十

このフェスタに参加した約百五十人の皆さんがチャレンジした種目は、大人から子どもまで楽しめるフランス生まれのニュースポーツ「ペタンク」。ペタンク用のコー

### 県体育功労者に富沢七男造さん

九月二十六日、県庁内の正庁の間において、平成七年度の県体育功労者と社会体育優良団体の表彰式が行われました。この席上、十七区の富沢七男造

られ、県教育長より体育功労者として表彰を受けました。富沢さんは「受賞は、社会体育の重要性が認められてきた時代を反映したものだと思う。今後もスポーツの振興に努めたい」と受賞の感想を述べていました。

### 代替バスの安全を願う

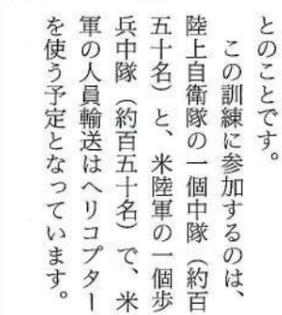
広報九月号で紹介した箕郷、淡川駅線を走る代替バスの運行開始式が、九月二十八日、淡川駅前バス発着所で行われました。開始式では、代替バスの真新しい車両の前に、一倉村長をはじめとする代替バス路線の沿線市町村の代表者らが並び、詰めかけた約五十人の関係者に「代替バスの安全運行を願ひ、乗車率を高めるよう努力したい」とあいさつ。ドライバーに花束が贈呈されたのち、関係者全員が新しいバスの乗り心地を体験するため、駅から本村の区間を試乗しました。

この訓練に参加するのは、陸上自衛隊の一個中隊（約百五十名）と、米陸軍の一個歩兵中隊（約百五十名）で、米軍の人員輸送はヘリコプターを使う予定となっています。

### 代替バスの座席の座り心地を確かめる村長

十月一日から運行する箕郷、淡川駅間の代替バスは、本村をはじめ淡川市、吉岡町、箕郷町の四つの自治体が協定を結び、群北自動

車交通株式会社運行を委託するもの。このため利用者が増えれば増えるほど、関係自治体の負担も軽くなります。年中無休で皆さまの足となる箕郷、淡川駅線の代替バスを、皆さんもぜひご利用ください。



代替バスの座席の座り心地を確かめる村長

### 道路愛護で受賞18区道路愛護会

九月二十日、前橋市にある群馬建設会館において、優良道路愛護団体等表彰式が行われました。この席上、十八区道路愛護会は、地域が一致協力して道路の維持保全作業に精励したとして、知事および県道路協会長から優良団体として表彰を受けました。



表彰状を持つ十八区の鈴木区長

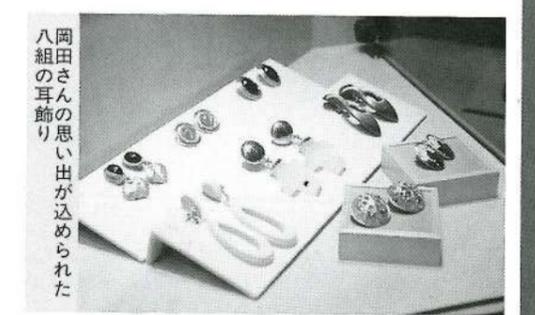


短距離走も速い富沢七男造さん

ト十八面が作られた校庭では、子どもと楽しそうにプレーする家族連れの姿が数多く見られました。

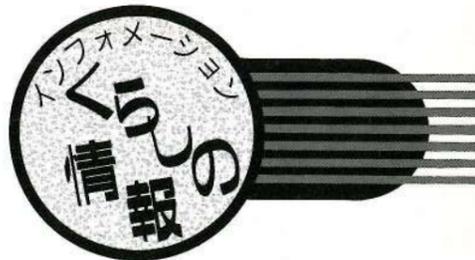


家族サービスは牛肉でと、多くの家族連れが訪れていました



岡田さんの思い出が込められた八組の耳飾り





財務事務所より

10月は特別地方消費税 指導強調月間です

特別地方消費税の税率はいずれも3%で、免税点は次の通りです。
■料理店・バー・スナック・レストラン・飲食店など
…一人一回につき 7,500円
■旅館・ホテルの宿泊
…一人一回につき15,000円
■旅館・ホテルの宿泊者の昼食および宿泊者以外の飲食
…一人一回につき 7,500円
▶詳しくは、渋川財務事務所問税課 ☎22-4050まで

前橋調停協会より

「法の日」記念 無料相談会のお知らせ

10月1日は「法の日」です。前橋調停協会ではこの日を記念して、離婚や財産分与、遺産分割、扶養などの家庭内のもめごとおよび、金銭貸借や土地建物、交通事故、公害問題などの民法上のもめごとでお困りの方を対象に、無料相談会を行います。
■日時…10月26日(休)
■場所…前橋中央公民館4階第2会議室(前橋市大手町2-3-6)
■相談担当者…群馬弁護士会所属の弁護士および前橋調停協会所属の民事・家事調停委員
▶お問い合わせ 前橋家庭裁判所事務局総務課庶務係 ☎0272-31-4275内線252 まで

県農政部より

グリーン・ドーム前橋で 収穫感謝祭を開催

収穫感謝祭実行委員会(県、JA群馬七連、前橋市ほか35団体)では、消費者に農業者との相互交流を通じて農業に対する理解を深め、豊かな実りに感謝する気持ちを育んでもらおうと、「第3回収穫感謝祭」を開催します。
■開催日…10月28日(土)~29日(日)
■開催場所…グリーン・ドーム前橋および旧前橋競輪跡地
■会場の内容…県内の市町村特産物出展コーナー(本村から夢工房のハム・漬物、杜仲生産組合、すずしろまんじゅうが出展する予定)、ふるさと味のコーナー(本県の新銘柄米「プロピカリ」の試食など)、農林産物品評会・展示コーナー、交流芸能コーナー(女学生によるチャリティーダンスなど)、ちびっこ広場(エビカニ釣り、ウサギ牧場など)、企業出展コーナーなど、会場には楽しいコーナーが設けられます。
▶お問い合わせ…県農政部農業技術課 ☎0272-23-1111内線2852

城山荘より

臨時休館日のお知らせ

■11月6日から15日の間は、休憩にご利用できません。
■11月6日から14日までの間は、宿泊に利用できません。
▶城山荘のご予約・お申し込み 城山荘 ☎52-2405まで

10月24日(火)に行う三種混合予防接種の会場は、南部コミュニティセンター(南小学校の東)に変更となりましたのでご注意ください。

ちよつとお耳を

健康 貧血をテーマに健康講座

村では、貧血についての知識を皆さんにつけてもらい、日常生活の中で貧血が改善できるように、貧血をテーマにした健康講座を次の通り開きます。
■日時…11月7日(火)午前9時30分~11時30分
■場所…農民研修館
■内容…採血、保健婦による貧血のお話、栄養士による食事のお話
※受講される方は住民健診の結果通知と健康手帳をお持ちください。
■申込方法…11月2日までに役場保健年金課へお申し込みください。
▶お問い合わせ…役場保健年金課 ☎54-2211内線424

県選挙管理委員会より 県民政治大学講座の受講生を募集

県選挙管理委員会では、ことしが国民参政105年・婦人参政50年などにあたるのを記念して「第23回県民政治大学講座」を開きます。政治に関心があればどなたでも無料で受講できますので、あなたも参加してみませんか。
■日時…11月7日(火)午後1時より
■場所…高崎市末広町23-1 高崎市文化会館
■定員…約700人
■受講申込方法…県および村の選挙管理委員会に用意してある受講申込書または往復ハガキに、住所・氏名、性別、年齢、職業(学生は在学学校名)、電話番号を明記して、群馬県選挙管理委員会(〒371 前橋市大手町1-1-1)または村の選挙管理委員会へ、10月26日までに申し送りください。

食欲の秋はワイン祭りで
—95年産のワインを味わってください—
10月22日(日)、しんとうワイナリー

図書券が 当たる! 広報クイズ

今月もがんばってください。家族みんなで解いてね。応募方法は、新聞広告の余白やメモ用紙に答えを書き、区、氏名、年齢、世帯主名を明記して、北小、南小、榛中、農民研修館に置いてある箱に入れるか、役場までお送りください。郵送でも結構です。また、村政に関するご意見や要望、質問などがありましたら同様にお寄せください。締め切りは、十月三十一日、正解者の中から抽選で六名の方に図書券をお贈りします。



★をつなげてください。ひとつの言葉になります。応募する紙には、その言葉だけを答えとして記入してください。(ヒント:花)

★タテのカギ
①村の鳥になつています。
②相撲をとる場所。
③ことしの干支です。
④一度はおいでと、歌にある県内の温泉地。
⑤異性を愛し、慕(した)うこと。
★ヨコのカギ
①多くの人が集まって運動競技やゲームなどをする会。
②助けること。
③6にぎったご飯の上にしみがのつてます。
④石で焼いたり、ふかしたりするイモ。

前回の答えと当選者
広報九月号のクイズの解答
ケ イ ロ ウ ノ ヒ
ン ★ ー ー ー ー
ビ プ ④ サ カ
キ ⑤ ウ ラ ⑦ カ
ヨ エ ⑥ プ ⑧ カ
ウ ー ー ⑧ ツ マ

は全部で四十一通寄せられ、全通が正解でした。抽選で次の六人の方に五百円相当の図書券を贈りました。(カッコ内は行政区、敬称略)
【当選者】竹内節子(1区)善養寺正寛(3区)藤英仁(7区)真下和将(11区)生方香津人(18区)小淵達也(20区)

ダイヤルメモ

役場 54-2211
教育委員会 54-2765
農民研修館 54-2573
商工福祉センター(商工会) 54-2211 (54-2318)
ふるさと公園 54-2488
南部コミセン 54-0488
楽集センター 54-0031
耳飾り館 54-1133
ふれあい館(社会福祉協議会) 54-1126

問い合わせ

保健…保健年金課
社協…社会福祉協議会
住民…住民課
教育…教育委員会
農業…農業委員会
経済…産業経済課
企画…企画広報課

あなたのこよみ

Calendar for 'あなたのこよみ' showing dates from 4 to 29 with various events like '文化の日', '総合G', '産業界', '福祉', '健康相談', etc.

わたしの暦

Calendar for 'わたしの暦' showing dates from 28 to 5 with various events like '三歳児健診', '心配ごと相談', '母親学級', '健康づくり', etc.

健康ガイドテレホンサービス ☎23-6666

# 寝たきりは予防できます

十月十日から十六日までの一週間は「四十歳からの健康週間」です。壮年期からの日常的な健康管理により「寝たきり予防」することが出来ます。いま「寝たきりの人」が寝たきり状態を克服したり、いま健康な人が寝たきりにならないために次のことを実践してみてください。

## 1 脳卒中と骨折予防

寝たきりゼロへの第一歩  
脳卒中と骨折が寝たきりの原因の約半分を占めています。適度な運動・バランスのとれた食生活・定期検診で予防に努めましょう。



## 2 寝たきりは寝かせきりから作られる

過度の安静 逆効果  
お年寄りは、ちょっとしたケガや病気で寝込みがちです。素早く治療し、安静期間を短くすることが大切です。  
3リハビリは 早期開始が効果的、始めようベッドの上から訓練を  
機能回復訓練は、早く始めれば始めるほど回復が早まります。

## 4 暮らしの中でのリハビリは食

事と排泄、着替えから  
家庭の中でも機能回復訓練が大切です。体を動かせる範囲で訓練するよう心がけましょう。

5 早おきして  
まずは着替えて身だしなみ生活にメリとハリ



## 6 「手は出しすぎず目は離さず」

自立の気持ち大切に  
できるだけで自分で実行してもらうように周囲も配慮し、自分にもできるという気持ちをもち続けさせることが大切です。  
7 ベッドから  
移ろう移そう車椅子  
行動広げる機器の活用  
寝たきり状態から自立を図つ

## 8 手すりつけ 段差なくして住

住まいの改善  
ていくためには、各種機器を積極的に活用することが大切。  
9 家庭でも社会でも  
喜びを見つけ  
みんなで防ごう閉じこもり  
社会とのかかわりを持たすことも大切です。一日中何もなしで家の中に閉じこもっていると、運動機能が低下し、寝たきりの状態になりがちです。  
10 進んで利用 機能訓練 デイサービス 寝たきりなくす  
人の和 地域の和  
地域で行われている保健サービスや福祉サービスを、積極的に利用して寝たきりを予防しましょう。



## おめでた おくやみ

○お誕生おめでとうございます  
※カッコ内は保護者の名前

- 女の子
- 21区 福岡 南ちゃん 7月26日生
  - 9区 三澤 杏樹ちゃん 8月5日生
  - 11区 小池 長江ちゃん 8月5日生
  - 2区 高橋 美帆ちゃん 8月5日生
  - 5区 諸橋 夏希ちゃん 8月10日生
  - 9区 後閑 栄利ちゃん 8月16日生
  - 3区 岩田 美紀ちゃん 8月17日生
  - 10区 武田 光樹ちゃん 8月19日生
  - 19区 立川 学ちゃん 8月19日生
  - 10区 武田 光樹ちゃん 8月6日生
- 男の子
- 7区 高木 翔ちゃん 8月8日生
  - 15区 塚田 雄介ちゃん 8月12日生

## 人口と世帯

(9月1日現在)

総人口	12,801人 (+33)
男	6,592人 (+15)
女	6,209人 (+18)
世帯数	3,876戸 (+8)

( )は対前月

- 2区 英木 和美さん 46歳
- 3区 岩田 ツネさん 81歳
- 5区 牧口 ユウさん 90歳
- 7区 柴田 龍一さん 79歳
- 11区 阿久澤 桑造さん 85歳

（この欄に掲載を希望しない場合は、届け出のとき窓口までその旨お話しください）



## 村内の交通事故

(9月末日現在の累計)

事故件数	41件 (±0)
死者	0人 (±0)
傷者	50人 (-4)

※( )は前年同期対比

シートベルトは必ずしましょう

## こちら編集室です

代替バスの運行が箕郷・渋川線で行われました。渋川駅で運行開始式を取材している最中、駅に入ります路線バスの種類の多さに驚きました。その中に十月一日から、本村を走るページョ色のポディーにピンクのストライプが入った車両が新しく仲間入りしました▼地球上にある石油は限られています。少ない石油を効率よく使うためには、バスが一番良いと思います。バスを交通弱者の足として考えることも必要かもしれませんが、もっとマクロ的な視野で利用してみませんか。(繁)

## 11月3日文化の日 第9回 村づくり産業祭

恒例となった村づくり産業祭が、11月3日に総合グラウンドで開催されます。ことしは榑白子の提供により、TVコマーションでお馴染みの有森也実さん会場を訪問。詳しくは役場産業経済課から配布される産業祭のチラシをご覧ください。

わが家のアイドル募集中!